

「県立高等学校の今後の在り方」についての地方別懇談会 【紀南エリア [東牟婁地域] 会場】概要

(令和2年9月27日(日) 15:00~16:40 県立新宮高等学校 体育館)

- 1 挨拶 和歌山県教育委員会 教育長 宮崎 泉
新宮市教育委員会 教育長 速水 盛康
- 2 説明 和歌山県教育委員会 教育企画監 清水 博行
- 3 質疑

[質疑においていただいたご意見やご質問]

○今後の進め方について

- ・時間をかけて地元の意見を丁寧に聞いてほしい。
- ・再編がスタートするとき学校に通う年代の子供や保護者の声を十分聞いてほしい。
- ・和歌山市や紀北とは地域性が違うので丁寧に進めてほしい。
- ・こちらから意見を出すだけでなく、県からも地域に出てきてもらいたい。
- ・こういう機会に積極的にこんな学校にしてほしいという地域の声をあげていきたい。
- ・計画ができた後は、学校に対する協力が必要になる。みんな一緒に頑張らないといけない。
- ・先延ばしにしても仕方がないので、実施プログラムは早急に作った方がいい。
- ・真摯に取り組んでくれているので感銘を受けた。

○教育の内容、学校の状況について

- ・統合した場合、低学力生徒の切り捨てにならないようにしてほしい。
- ・答申は1学級40人学級が前提で書かれているが、20人学級も考えるべきではないか。
- ・大学進学率のことが書かれているが、無理に大学へ行かせるという考えをもっているのか。
- ・新宮高校も新翔高校も校舎は老朽化している。校舎についての考えはどうか。
- ・合格できる学校ではなく、学びたい学校にしていくという説明が心に残った。
- ・紀南地方の未来ある子供にとって良い学校を作してほしい。

○地域の状況等について

- ・串本地域は、ロケットが地域の核となって、今後、人が集まる可能性はある。
- ・紀南地域は経済的不利益を抱えているという視点が抜けているのではないか。
- ・人口減や少子高齢化の中で、再編や統廃合の検討が必要なことはみんな分かっている。
- ・学校は地域の象徴である。統合は両校の歴史の中でも大きなことである。

[質疑における県教育委員会の回答及び見解]

今回の地域別懇談会を通して、地域と学校の将来をお考えいただいたの意見を伺い、大変ありがたく、また勇気づけていただいたと感じています。

今後、再編整備実施プログラムを作成するまでの間、多くの意見を聞いていきたいと考えています。懇談会の内容をそれぞれがお持ち帰りいただき、皆さんの議論の中から、「地域の学校をこういう学校にしたい」という声が上がってくることを期待しております。更なる地域別懇談会は予定していませんが、小中学校の先生方や市町村教育委員会、地域の声は、地域の県立学校にお話しいただくことで、県立学校を通じて届けられます。意見を伺いながら、できるかぎり丁寧に作成していきます。

人口減少は待ったなしです。これから高校に進学する子供たちに時間的余裕をもって、これからの高校の在り方を示していくためにも、できるだけ早く進め、年内に実施プログラム(案)を出す必要があると考えています。

学びたいと思える学校づくりや学力が伸び悩む生徒への学習保障等、貴重なご意見はプログラムに反映させていきます。一方、施設の改修や20人学級等、実現が容易でないご意見もいただきましたが、一つ一つ検討していきたいと考えています。